

ダイナミック 釜山

Dynamic Busan

月刊、釜山広域市発行、第75号
2016年10月1日

釜山と日本、官民の交流さかん

東北被災者など11人、韓日学生対話プログラム参加
福岡の市議会、弁護士会も釜山訪れ、親睦深める

韓日の自治体や民間レベルの交流が、釜山を拠点に活発に行われている。両国の若者の対話プログラムや、市議会や弁護士会の交流行事が今年8月、釜山で相次いで開かれた。

韓日学生対話プログラムが8月22日、釜山であり、両国の大学生と高校生が交流した。東日本大震災で被災した若者のリーダーシップ教育を支援する一般財団法人「教育支援グローバル基金(BEYOND Tomorrow)」(東京)が企画。震災後、東北の被災地の学生を対象に毎年、アメリカやフラン

ス、ドイツで夏季グローバル研修を実施してきた。今年は参加対象を日本に広げ、被災地出身者など11人が釜山を訪れた。2泊3日の日程で、少子高齢化や社会格差、若者の雇用など両国が抱える問題について、韓国の大学生、高校生と討論した。

市議会の交流も盛んだ。福岡市議会の代表団10人は8月24日から26日まで釜山を訪れ、両市の協力のあり方を話し合った。小島久議長をはじめとする福岡市議10人は「未来産業としての都市農業・漁業の現況と課題」をテーマに討論会を開催。釜



韓日の大学生や市議会、弁護士など各界の交流行事が、相次いで釜山で開かれている(写真は8月、釜山であった「BEYOND Tomorrow」夏季グローバル研修に参加した韓日の大学・高校生)。

山市、福岡市の発表に続いて質疑応答が行われた。農業・流通施設や釜山国際映画祭の専用劇場「映画の殿堂」の見学もした。

弁護士も親交を深めている。釜山地方弁

護士会は9月2日、釜山市のホテル農心(ノンシム)で、福岡弁護士会と定例交流会を開いた。釜山地方弁護士会の会員約50人と福岡弁護士会の会員26人が参加した。